ほけんだより

令和8年11月25日
No. 9
札幌市立豊園小学校



裏面
児童向け

インフルエンザ警報が発令中



札幌市では 11 月中旬にインフルエンザ警報が発令されました。
今年は流行期が夏から継続し、流行の主流は A 型「H1N1」です。
昨シーズンの流行の主流だった A 型「H3N2」には、抗体を持っている人が多いもようですが、B 型ウィルスの動向も含め今後の流行が気になるところです。

【本校の状況】

☆インフルエンザ A 型の感染者が若干名ですが、継続して出ています。
☆今シーズンの本校のインフルエンザ A 型の累計罹患数は 67 名（14%）です。まだ流行の波がくる心配があります。
☆コロナも常時、若干名出ています。

☆流行状況が確認できます☆

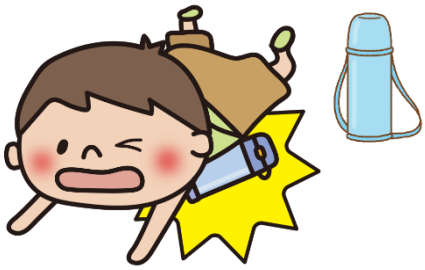
札幌市インフルエンザ流行マップ ＞

札幌市新型コロナ流行マップ ＞

札幌市のホームページから最新の学級閉鎖等の状況を確認することができます。
上記の文言で検索するとこのようなバナーが出てきます。

冬季の転倒に注意しましょう

冬季になり、路面で滑って転倒するなど登下校時の怪我が増えます。
思わぬ強い打撲や、顔面・頭部の怪我につながりやすいので、ご家庭でも以下の点について注意を促していただけたらと思います。



☆水筒の位置を配慮（転倒時に腹部を圧迫しない位置が望ましい）



☆手袋・帽子の着用。特に頭や顔面の怪我を防ぐ。



☆ポケットに手を入れない
☆できるだけ両手がふさがらないような荷物の工夫を。

冬休み中に医療券を使う予定がある場合は、12／18 までにお申し出ください。



11／25号

児童むけ

今年はインフルエンザの流行が早くから始まりました。豊園小では、大きな流行はまだ起きていませんが注意が必要です。今回は健康に過ごすための教室の空気について考えましょう。

１２月の保健目標

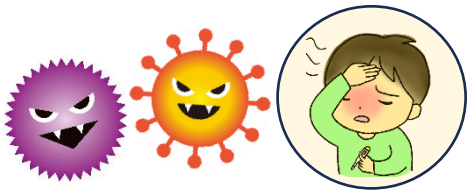
「かぜやインフルエンザに気をつけよう」



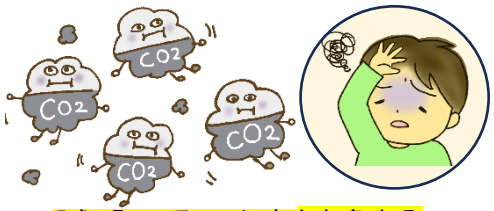
しめきった教室で増えるものは？

窓を閉めている冬は、何十人もの人が過ごす教室の空気は汚れがちです。

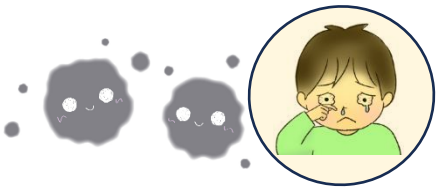
風邪などの感染リスクが高くなったり、二酸化炭素が多いと気分が悪くなったり、ホコリやカビで目や鼻のかゆみなどが出やすくなったりします。



風邪・インフルのウィルス



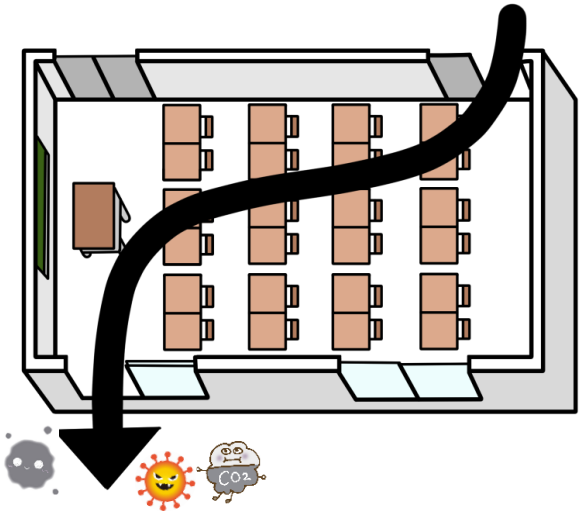
呼吸で出る二酸化炭素



暖房で舞うホコリやカビ

冬も教室の換気が大切ですね！





休み時間などに、先生たちが換気（空気の入れ替え）をしてくれていると思います。

このように窓と扉の両方を開けることがポイントです。

短時間ですが、肌寒い場合には上着や膝掛けなどで冷えないようにしましょう。





「窓と扉」の両方を開けて風を通す

１２／９に昼放送『風邪やインフルエンザについて』があります

